

将来の夢に向けて「今」できること

保育士になるのが夢という清水彩華さん（大学4年生）。コロナ禍でも、今自分に「できること」としてボランティア活動を希望されました。特に現場でしか経験できない「子どもとの関わり方」を学びたいとのことで、「すぐに寄ってくる子だけでなく、そうでない子にどう接していけるか」が目標だったそうです。回数を重ねていくうちに自然に「笑顔」が出せるようになり、「にこにこ」していると自然と子どもたちとの距離も近くなったそうです。これからも夢に向かって頑張ってくださいね。



「島根いちい保育園」では、保育士の仕事をより多くの方に知ってもらいたいとの思いから、小中高生のボランティアを積極的に受け入れているそうです。



将来、保育士さんを目指している清水さん、実はこの保育園の卒園生とのことです！



子どもたちとの距離も縮まり、すっかり「先生の顔」に。

取材日：令和2年8月5日 参加したボランティア数：1名
取材メモ：ボランティア活動を通して、将来に活かせる体験や貴重な出会いが沢山できたと思います。是非、大切にしてこれからも頑張ってください。（高橋祐治）
問合せ先：総合ボランティアセンター ☎3870-0061 FAX3870-5900